

## 未知なる力や科学とともに！



2025 年を迎え、どのようなお正月を過ごされたでしょうか。

今年の干支は「巳年(みどし、へびどし)」です。

巳(蛇)は、古来より豊穰や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。

たくましい生命力があり、運氣や金運を上げる縁起物として定番となっています。

### ■十干十二支(じっかんじゅうにし)について

さらに干支には、十干十二支(じっかんじゅうにし)という考え方もあります。

十干 : 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸

十二支: 子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥

この二つを組み合わせて 60 通りの年号を作り出す古代中国で生まれた暦法です。

60 年で一巡して暦が還(かえ)るので、60 歳の誕生日を「還暦」と呼び、お祝いする習慣があります。

(10×12 で 120 通りなのでは?と思った方は調べてみてください)

十干十二支でいうと、今年は「乙巳(きのとみ)」です。

乙巳とは、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。



### ■「丙午」にまつわる俗説

来年 2026 年の十干十二支は「丙午(ひのえうま)」です。

「丙午の年には災害が起こり、この年に生まれた女性は気性が強くて男性を不幸にしてしまう」という俗説があるのをご存知の方もいらっしゃるでしょう。

科学的根拠はありませんが、はるか昔からそのような言い伝えが信じられてきました。

前回 1966 年の丙午には何が起きたかという、その年に出産を避ける人が多数いました。

出生率を見ると、前年 1965 年から 25%減少し、後年 1967 年は 42%増加しました。

近年は丙午に対する意識は薄れていると思うので、来年は前回のような大幅な人口の増減は起きないのではないかと私は予想しています。



### ■AI に騙される？

目に見えない力を信じる一方で、生活の基盤は最先端のテクノロジーに支えられているという、相反するものが混在するちょっと面白い世界に生きていると感じます。

先日、人工知能 (AI) が人間を欺くリスクがある、という記事を読みました。

AI 自らが判断し、自分を監視するシステムを無効化し、データを都合よく書き換えたりすること。

AI を使っているつもりが AI に操られている・・・そういう事態を気にかけておく必要もあるのだと感じます。



もしかすると日々の保育活動の中でも、AI の技術を使う機会がもっと増えるかもしれません。

時代の流れに乗りながらも、古来から伝承されてきたものやバーチャルではない実体験なども大切にしていきたいです。

子どもたちがわくわくする体験や経験を重ねていけるように尽力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(飯塚)